

## 北九州市響灘ビオトープ指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	(指定管理者候補団体)
<p>1 指定管理者としての適性について</p>	<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>【理念】「自然に恩返し、ネイチャーポジティブで未来を動かす Action!」</p> <p>持続的にネイチャーポジティブを推進する社会を構築するため、自然環境の保全と継続的な維持管理、地域の自然環境保全に関する学習及び交流の場の提供、人材の活用・育成、これらの活動を通じて地域に貢献する。</p> <p>【基本目標】響灘ビオトープ条例における目的と「次期北九州市生物多様性戦略」（策定中）の基本目標にリンクする4つの基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生物多様性を大切にする価値観の形成</li> <li>2) 生物多様性の適切な保全と回復</li> <li>3) 自然を活用した多様な課題の解決</li> <li>4) 生物多様性保全活動を通じた地域貢献</li> </ol> <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開園時から植生管理を行ってきた人材を含む経験者を引き続き採用し、新規採用も行い、環境人材の育成を図る。</li> <li>・現場のスタッフと共同事業体職員は、生物や都市計画、労務、経理など、指定管理業務に関連する分野の知識と経験を有した多才な人材を配置。</li> <li>・共同事業体を構成する3団体は、堅調な経営利益を計上しており、財政基盤は安定。</li> <li>・共同事業体には、生物だけでなく、環境や都市計画、労務管理経営、ISO などの品質管理に精通した人材も有している。</li> <li>・共同事業体を構成する3団体による「総合力」は大きな強み。</li> </ul> <p>(3) 実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同事業体は、令和1～6年度の響灘ビオトープ指定管理業務を遂行。</li> <li>・数値目標の達成状況として、コロナ期間を除く入場者数は、要求水準を達成。エコツアー利用者も概ね達成。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・本ビオトープは、元廃棄物処分場という特異性があり、指定管理業務（R1～6年度）の経験と実績を活かし、生態系に配慮した日常の管理業務だけでなく、自然災害や天候異常による変化にも対応可能。</li><li>・エコプラン研究所は、生物の専門スタッフによる生物多様性に主眼を置いた、精度の高い自然環境調査・研究および計画業務を遂行し、自然に関する豊富な実績がある。</li><li>・福山コンサルタントは、「新しい社会」をつくる専門家集団として、高い職業倫理を備えて、人々の生活を支える社会資本整備とその活用施策の立案支援に携わっている。</li><li>・北九州ビオトープ・ネットワーク研究会は、市民参加型の保全活動を継続的に実施し、地道な取り組みが環境省や総務省、北九州市から表彰されるなど、誠実な活動をしている。</li></ul>
--	--

【有効性】  
に関する  
取組み

- (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
- 【ネイチャーポジティブ推進の3本柱】
- ①多様な主体との協働による生物多様性の増進と環境保全の推進
  - ②自然を活用した地域課題の解決
  - ③ネイチャーポジティブ情報の受発信
- 【入園者数】
- ①連続講座の開催によるリピート来園
  - ②異分野の主体と協働した講演会やマルシェ開催等による大人数集客
  - ③教育機関に加え、高齢者や企業、地域など団体を誘致
  - ④天候変化によるお客様サービス
  - ⑤バスツアー実施とお客様送迎サービスの検討
  - ⑥支払いにおける電子決済の検討
- 【広報】
- ①SNSによるタイムリーな情報発信と受信
  - ②年代、ライフスタイルなど特定の層をターゲットにした広告戦略、③異分野コラボによる活動を通じた情報発信など双方型の情報の受発信、
  - ④オリジナルカレンダーをプレゼント
- (2) 利用者の満足向上
- 【お客様アンケートの満足度】
- 満足度 95%以上を目指す
- 【お客様の満足が得られるための取組み】
- ①SNSによるお客様とのコミュニケーションによるニーズ抽出、
  - ②ユニバーサルデザイン対応
  - ③不満足を改善して強みに変える
  - ④社会変化への柔軟な対応
- 【お客様の意見を把握し、それらを反映するための仕組み】
- ①アンケート手法のDX化
  - ②お客様意見と改善策の見える化
  - ③異分野の主体とのコミュニケーション
- 【利用者への情報提供を図るための取組み】
- ①自前 SNS とプレビュー数の多い web メディアとコラボしたブランディング
  - ②園外施設および異分野へアウトリーチ

	<p>【効率性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 指定管理料及び収入</p> <p>【利用料金の設定】 ビオトープ園の入園料は一般¥100 から ¥150 に変更、中学生以下は引き続き無料とし、収益の増加と来園しやすさを追求する。</p> <p>【指定管理費用】</p> <p>①過去の利用実績に基づいた資金計画と適切な人員配置 ②自主事業による収益化 ③共同事業体経理規程に基づいた収支管理 ④照明設備の LED 化</p> <p>【収入最大限確保】</p> <p>①経験に基づく施設管理や植生管理業務の効率化 ②主催事業における参加費の徴収</p> <p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <p>【収支計画、積算根拠】 これまでの指定管理業務の経験と実績をベースにした収支計画</p> <p>【収入増加提案】</p> <p>①自主事業による収益の一部を指定管理費へ繰り入れ ②外部の補助金や業務委託などの獲得にチャレンジ</p> <p>【提案金額】</p> <p>令和7年 49,444 千円 令和8年 49,450 千円 令和9年 49,446 千円 令和10年 49,454 千円 令和11年 49,450 千円</p>
--	-------------------------------	---

	<p>【適正性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 管理運営体制など</p> <p>【人員配置】 常勤スタッフ 6 人と非常勤スタッフによる体制をベースとし、イベントや繁忙期に適宜、共同企業体からの人材応援と、ボランティア施設と連携しメリハリのある対応</p> <p>【管理体制】 ①現地業務はマルチタスク化による効率化を推進。 ②経理、労務に関する業務は共同事業体がバックアップ</p> <p>【資格、経験】 ガイド経験が豊富かつ、ビオトープ管理士を有したり、プロジェクトワイルドを受講したりした人材を配置</p> <p>【資質向上の取組み】 ①共同事業体構成企業と連携したスキルアップ研修実施、 ②コミュニケーション力や接客研修、他施設の視察・交流等によるスタッフの資質・能力と社会適応力の向上促進 ③評価制度の導入</p> <p>【連携、協働】 自然関係団体に加え、異分野団体、地域団体との協働・連携を積極的に推進。</p> <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>【個人情報】 「個人情報保護法」と共同事業体の個人情報保護内部規程に基づいた情報取り扱いの徹底とサイバー保険の加入</p> <p>【平等利用】 本市の「障害を理由とする差別をなくし誰もが共に生きる北九州市づくりに関する条例」に基づき、市民の誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインによる運営</p> <p>【安全対策、危機管理体制】 お客様の安全確保とリスクの低減と回避のため、 ①上級救命講習を定期的に受講 ②事故やケガ発生時の緊急対応マニュアルに基づいた対応</p> <p>(3) 地域貢献・社会貢献</p> <p>【地域貢献】 ①事務局を務める響灘植樹実行委員会による響灘地区の緑化推進 ②事務局を務める響灘ホップの会による自然再興型第 6.5 次産業の推進 ③キッチンカー配置による響灘地区のランチ難民対策 ④「福岡県ワンヘルス推進基本条例」に賛同し、環境保全に加え人と動物の共生社会づくりや健康づくりに貢献</p>
--	-------------------------------	--